

飯塚 卓矢さん



取材日/8月1日
撮影地/小菊調整場にて



本橋

より良い農業を 模索する若手農家

自分なりの農業を追求

組合長 お父さんと同じく農業をして青年部の委員長として活躍されていますね。

飯塚 ありがとうございます。私も就農して12年ほど経ちます。現在は家族で農業に取り組んでいます。

組合長 家族内で作業分担はどのようにしていますか？

飯塚 私は米、大豆、ネギを管理しています。それ以外のシャインマスカットや小菊などは父の方で栽培しています。

組合長 米の栽培品種が多いようですが大変ではないですか？

飯塚 逆に品種が少ないと飽きてしまいます(笑)品種が多い分、自分なりに圃場の条件に合わせて肥料を変えたりして栽培しています。

組合長 全ての圃場から同じような収量を上げるために日々研さんされているのですね。素晴らしいです。苦労していること

はありますか？

飯塚 昨年からの肥料高騰に苦しんでいます。米価も下がった今、どうしたら収益を上げられるか頭を悩ませています。堆肥でカバーしてみたり、施肥量を減らしコントロールできるようにしてみたりといういろいろやってみてはいますが…。

組合長 JAでも来年の春肥価格については、肥料の種類を絞り、早期に仕入れし、1円でも安く皆さんに提供できるように進めています。また、JAの任意積立金に充てられた資金がありますので、公認会計士とも相談しながら今後の活用について早急に検討いたします。

飯塚 よろしくお願います。

組合長 今年の水稲の生育は順調ですか？

飯塚 6月上旬の低温で遅れたかと思いましたが、それ以降の高温や日照で例年より少し早い出穂で落ち着きました。「はえぬき」、

「雪若丸」に関しては、茎

数が1㎡当たり約550本だったので、収量が期待できるかなと思っています。

組合長 そうですね！順調のようですね！

飯塚 はい。これから、担い手の受け皿として米を作れるようにしていきたいと考えています。また、面積を拡大するとすればもう1台乾燥機を導入する必要があります。新しい作業施設も必要となり、それを自分の

飯塚 卓矢さん

昭和61年生まれ。経営面積約23ha。栽培作物はつや姫6.3ha、はえぬき5.9ha、雪若丸1.5ha。大豆(里のほほえみ)4.2ha。飼料用米(ふくひびき)3.9ha。酒米(出羽の里)0.5ha、(出羽燦々)0.4ha。軟白ネギ0.1haを栽培。農事組合法人「ビーンズ本橋」に所属し、JA青年部の委員長も務める。

今後の展望

組合長 今後、面積の拡大や新しい品目への挑戦を考えていますか？

飯塚 来年からコシヒカリの栽培を考えています。肥料高騰の問題もあるので基肥窒素を0kgまたは、10a当たり1kgだけ施用して、穂肥1kgで倒さずに米を作れないかなと思っています。

組合長 作り方が難しいかもしれないですね、来年が楽しみですね！

飯塚 はい。これから、担い手の受け皿として米を作れるようにしていきたいと考えています。また、面積を拡大するとすればもう1台乾燥機を導入する必要があります。新しい作業施設も必要となり、それを自分の

3年ぶりに開催!! 「田舎まるかじりツアー2022」

当JA青年部主催の食農交流イベント「田舎まるかじりツアー2022」が7月29～31日にかけて開催されました。ツアーには6月の「上京運動」で訪れた小学校の児童と保護者の4人が参加しました。農業について理解を深めてもらうため、山居倉庫や庄内米歴史資料館、カントリーエレベーターなどを見学し、無人ヘリコプターのリモコン操作や米俵を担ぐ体験をしました。また、庄内の自然と触れ合ってもらおうと田んぼで泥んこバレー、海水浴場でのスイカ割り、餅つき体験、バーベキューなどを企画し、地元の児童と一緒に楽しみました。



みどり

2022 No.341

CONTENTS

- 02 組合長が聴く!
- 03 表紙説明
- 04 ニュース&トピックス
- 06 特集 JA庄内みどり産米応援団のご紹介
- 08 営農のしおり/園芸だより
- 09 園芸生産拡大への道/ピックアップアイテムズ
- 10 食材提供で子どもたちの食をサポート!!/きらりかがやけ!女性部
- 11 くらしと福祉/みどりサービス通信
- 12 みんなのふれあいひろば/読者からのおたより
- 13 フルーツパラダイス/手軽に健康手指体操
- 14 クロスワードパズル/シェフ永井のおすすめ
- 15 インフォメーション/理事会だより
- 16 協友アグリからのお知らせ



所属している法人(ピーンズ本楯)で一本化していくのか、それとも枝番方式で個別に管理するのかというのも検討しなければいけないと思います。

組合長 法人・地域の方々と時間をかけて方向性を決めなければいけませんね。

飯塚 はい。地域の農家の高齢化を考慮しながら規模拡大を考えていきたいです。

JAへの要望

飯塚 フレコンの助成金を復

活していただきたいです。私はすでに導入しているのですが、青年部の若手から「フレコンへの助成はないのかな」と聞かれることが多いです。リフトや計量機、ホッパーなども含めると200万円を超えてくるので補助していただけると大変ありがたいです。

組合長 復活して欲しいという声が多く上がっているのであれば改めて検討したいと思います。

飯塚 もう一つは、圃場を均

平にするレーザレベラーの導入です。今後は一農家の抱える農地が大きくなります。その中で少しでも労力を減らし、収量を安定させるためJAでレーザレベラーを取得し、生産者に貸し出すということは難しいでしょうか?

組合長 今、JAでレーザレベラーは所有していませんね。

飯塚 自分で整地するより精度が高く水頭から水尻の角度をつけることができる

ため、収量の向上につながるのではと思っています。作業自体が専門的になるので、農機の職員や営農指導員が操作方法を把握しているとなお良いのかなと。

組合長 導入したことで皆さんが管理できる面積も増えるかもしれませんね!検討したいと思いますが、貴重なご意見ありがとうございます。

飯塚 近年、農業経営は不安定な状況が続いているので、JAからリーダーシップを

とってもらえると我々も安心して農業を続けていけます。よろしくお願ひします。

組合長 皆さんの意見を反映できるように努力いたします。今後ともよろしくお願ひします!

・JAは組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立を目指しています。

※アクティブ・メンバーシップとは、組合員が積極的に組合の事業や活動に参加することです。JAは組合員の声を聴き、組合員に評価される事業や活動を展開します。

・JAは自己改革の着実な実践と情報発信を行っています。